

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年2月23日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年2月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【電動工具による負傷について】 1号原子炉建屋西側K排水路内補修作業において、電動サンダーの電源ケーブルをコンセントにつないだ際、仮置きしていた当該サンダーが動き、近くにいた協力企業作業員の右足太もも上部に接触し負傷した。 構内救急医療室にて、切創による3針縫合の治療を受けた。 原因は、電動サンダーのスイッチが通電前より「入」となっていたため。	GIII